

よ〜く読んでね!

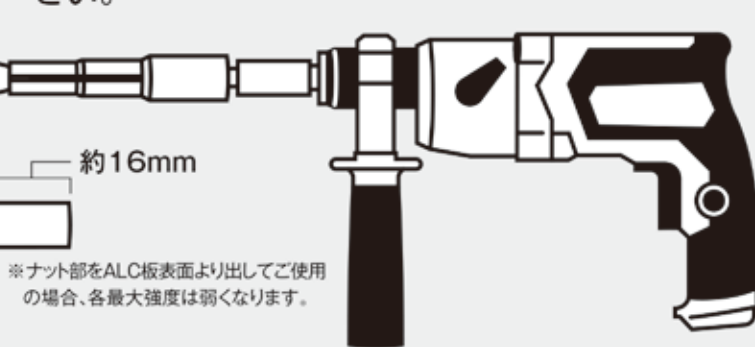
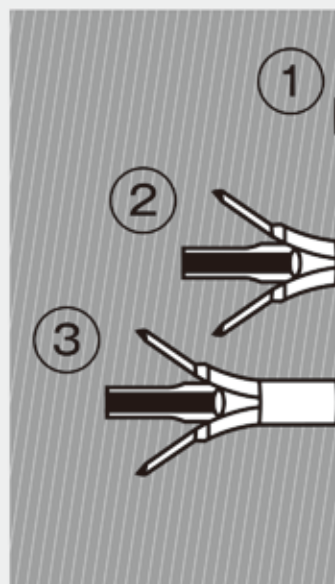
トリオン®



使用方法

各機械メーカーのハンマードリルで打ち込んでください。下穴は不要です。

内部コーン打ち込み式アンカー用打ち込み棒を必ず使用し、回転を止めて打撃のみでご使用ください。



※ナット部をALC板表面より出してご使用の場合、各最大強度は弱くなります。

- ① 打ち込み棒をアンカーにセットして打ち込みます。(下穴不要)
- ② 溶接する場合、またはナット部分を出す場合は二段のラインが少し隠れたあたりで止めます。
- ③ ALC板と面位置にする場合はそのまま打ち込みます。

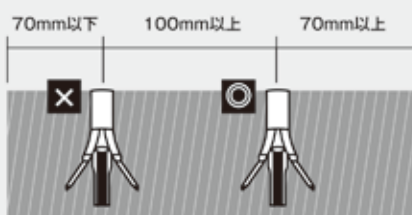
打ち込み棒を使用せずにトリオンを直接叩くとALC板面に対して斜めに入ったり、トリオンのアンカーとしての広がり不足します。また、ねじがつぶれて施工不良の原因になりますのでご注意ください。

オリジナル
機械打ち専用
打ち込み棒(SDS)
別売り

お願い

- 溶接は可能です。
- ご使用の際、鉄筋はさけてご使用ください。
- ALC板は100mm以上の厚みが必要です。
- ALC板の端より70mm以上あけてご使用ください。(トリオン全長56mm。)
- ナット部分を出してご使用の場合は、最大締付トルクは弱くなります。
- トリオンは十分な強度を持っておりますが、現場では予測できない多種多様な荷重が想定されますので、施工されるALC板の状況をよく検討され、ご使用される前にその現場毎でテスト使用した後、工事を実施してください。尚、表面の強度表の数値はあくまでも一つの目安とお考えください。
- 天井に使用する場合は、使用する現場で引抜きテストなどを行って、強度計算には十分な余裕を持ってお使いください。
- 水道管等施設後の水流による強い衝撃・振動などのウォーターハンマーが想定される場合は使用しないでください。この場合には引抜きテスト等の数値は参考になりませんのでご了承ください。
- ALC板に割れやその他のキズなどがある場合、またはALC板が劣化している場合に、引抜きテストの強度は出ませんのでご注意ください。

ALC板の端より70mm以上あけてご使用ください。



- 1) 正しくはALC板と面位置まで打ち込んでください。
- 2) 面位置より打ち込みすぎるとALC板が割れますのでご注意ください。

■アンカーの許容設計荷重

静荷重(1/3:安全率)、動荷重に対しては安全率を状況に応じて設定する必要があります。

【製品詳細】

| | |
|------|--|
| 入数 | 小箱30本入、中箱300本入(30×10) 大箱900個入(300×3)=1包 |
| 表面処理 | 三価クロメート処理 |
| ネジ径 | 3/8 |
| 全長 | 56mm |
| 品番 | TR-3865 |

